

トラック奈良

トラック協会は事故防止・交通安全、
環境及び災害時緊急輸送対策に取り組んでいます。

8

[令和元年] **2019**

No.304



横断歩道 歩行者優先!

奈良県警察 奈良県トラック協会

公益社団法人 奈良県トラック協会

<http://narata.or.jp>

産学連携学会第17回大会	1
奈良県産業・雇用振興部長来訪	6
災害対策啓発冊子 下市町	7
東吉野村	8
野迫川村	9
ダンプ部会 第18回通常総会	10

■ 全ト協から

軽油価格調査集計表(2019年5月)	12
--------------------	----

■ 近畿交通共済から

近畿交通共済からのお知らせ	13
---------------	----

■ 陸災防から

労働災害を防ぐためには	14
-------------	----

■ 奈ト協から

8月・9月の行事(予定)表	16
8月お盆休みの案内	17
適正化事業・巡回指導報告書	18
事業用自動車事故事例No.47	19
KIT事業の案内	20

■ 事故対から

事故対からのお知らせ	21
------------	----

■ 奈良県警察本部から

奈良県警察本部からのお知らせ	22
----------------	----

横断歩行者保護宣言事業所の証	巻末
----------------	----

産学連携学会第17回大会 [奈良大会]

日：令和元年6月20日(木)・21日(金)

場所：奈良県文化会館（奈良市登大路町）

主催：特定非営利活動法人 産学連携学会 共催：帝塚山大学他

特別協賛：(公社)奈良県トラック協会他

大会運営：大会長／蓮花一己 帝塚山大学学長 実行委員長／菅万希子 帝塚山大学学長補佐

少子高齢化時代の産学連携について



▲開会のあいさつをする蓮花一己 大会長（帝塚山大学学長）

奈良県内で初めてとなる産学連携学会を帝塚山大学が事務局となって開催。(公社)奈良県トラック協会も特別協賛し、塚本哲夫新会長や副会長らが参加し、会場では交通安全の啓発品を配布したほか企業ブースへの出展で協会をPRしました。

学会には全国各地から学者や関係者、県内の企業などから500人を超える人が集まり、2

日間にわたって少子高齢化時代の産学連携について様々な発表がありました。冒頭、産学連携学会の木村雅和会長のあいさつに続いて大会長の蓮花一己 帝塚山大学学長は「本大会のテーマは超少子高齢化社会の地域経営と産学連携となっている。関西で初の大会であり、私立大学の主催というのも初めてで光栄なこと」と述べました。



▲荒井正吾奈良県知事のあいさつ



▲開会のあいさつをする木村雅和 学会長

来賓の荒井正吾奈良県知事は「産学連携は国家のテーマであると同時に地域のテーマでもある。地域にあっては働く人を確保するのが大きな課題。奈良県の産業は全国的には低い位置にある。その中で産学の会議をしていただくことは意義がある」と述べ、宿泊の方向けに夜の国宝の東大寺梵鐘の鐘の響きと常夜灯の二月堂の回廊はおすすめと紹介しました。



▲開会宣言をする菅万希子 実行委員長（帝塚山大学学長補佐）

超少子高齢化社会の地域経営と産学連携 ―新たなニーズと新産業ネットワーク―



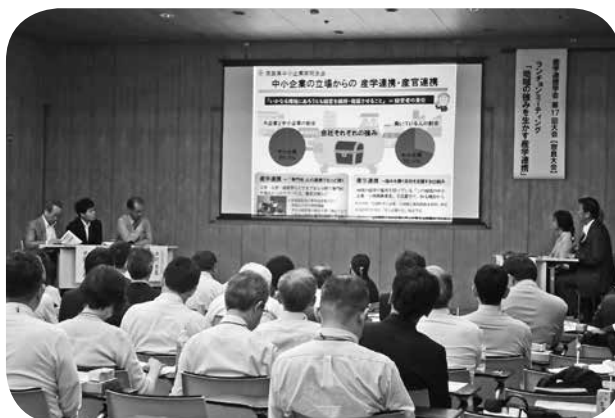
20日11時～12時30分のシンポジウムでは蓮花一己 帝塚山大学学長、森雅彦 DMG森精機株式会社代表取締役社長らがパネリストとして参加しました。急速に進む少子高齢化社会に対

して、新社会システムを見すえたネットワーク形成などについて話し合いました。蓮花学長は「高齢者の事故率は高いわけではなく、装備を充実させることで、今後10年の間に激減できる。

高齢者を排除するのではなく、新しい車で社会参加していただき、社会に役立てる人材として活躍できるよう、大学としても積極的に関われる場を提供していきたい」と話しました。



▲パネリストの左から寺島実郎（一般財団法人日本総合研究所会長）、森雅彦（DMG森精機株式会社代表取締役社長）、倉橋孝壽（近鉄不動産株式会社代表取締役社長）の各氏



▲ランチョンミーティング（地域の強みを生かす産学連携）

超高齢社会におけるモビリティの展開

20日13時30分～15時のオーガナイズドセッションでは蓮花学長が座長となり、国土交通省道路交通管理課高速道路交通システム推進室の安部勝也氏が「自動運転のもたらすモビリティ社会と産学連携」、名古屋大学の二宮芳樹氏は「高齢者へ

の運転支援と自動運転の将来」、近畿大学の多田昌裕氏は「高齢者への教育と運転支援」、オムロンソーシアルソリューションズ株式会社の佐藤尚良氏は「ドライバーへのセンサリングと支援」についてそれぞれ発表。蓮花学長は「信号無視や出会い頭

事故等、高齢者が起こしやすい事故に対し、産学官の連携で対応すべきである。自動車や道路側での運転支援技術や自動運転技術の発達は、事故防止のみならず、高齢者の社会参加にとって重要な解決策である」と話しました。



▲発表者の左から安部勝也、二宮芳樹、多田昌裕、佐藤尚良の各氏



▲左から協会の塚本会長、萩原副会長、中副会長、清水副会長



▲帝塚山大学の受付のみなさん



▲交通安全の啓発品を配布して協会のPR



■協賛企業の主なブース



(株)キクテック



本田技研工業(株)安全運転普及本部



名古屋電機工業(株)

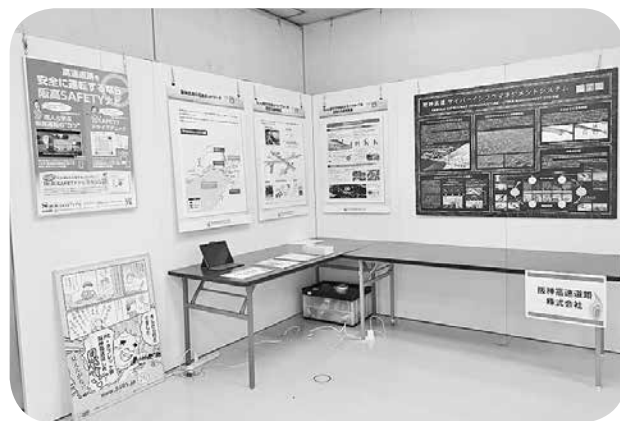


西日本高速道路(株)

■協賛企業の主なブース



NECソリューションイノベータ(株)



阪神高速道路(株)



中日本高速道路(株)



(株)電脳

協賛企業は、このほか

○オムロンソーシアルソリューションズ(株)

○(株)オリエンタルコンサルタンツ

○(株)サーベイリサーチセンター

が出展されていました。

奈良県 産業・雇用振興部長来訪

日時：令和元年7月2日(火) 午前11時～

場所：奈良県トラック会館

公益社団法人奈良県トラック協会は、中川裕介産業・雇用振興部長、前野孝久産業振興総合センター長と事業用自動車のドライバーが疾病により安全な運転が出来ない状態で運転することを防止するための措置等について協議を行いました。



▲写真右から中川部長、前野センター長、西村和也地域交通課長

災害対策啓発冊子を寄贈

下市町役場

月日：令和元年7月11日(木)

昨年7月の西日本豪雨を教訓に、いざというときの避難行動に役立てて頂くため、「避難情報は5段階で発令されます」の冊子を、下市町役場に寄贈しました。



▲清水益成 副会長

▲杵本龍昭 下市町長



東吉野村役場

月日：令和元年7月11日(木)

災害対策啓発のため、「避難情報は5段階で発令されます」の冊子を、東吉野村役場に寄贈しました。



▲水元 実 東吉野村長

▲宇陀・吉野地域 裏大二 氏

野迫川村役場

月日：令和元年7月17日(水)

災害対策啓発のため、「避難情報は5段階で発令されます」の冊子を野迫川村役場に届けました。この日は、中本浩三野迫川村副村長が対応して頂き、「地域の住民のため早々に配布します。」と話をされました。



▲中本 浩三 副村長（左から2人目）



ダンプ部会 第18回通常総会

無事故・無違反チャレンジ運動120達成グループ表彰

日時：令和元年7月9日(火) 午後2時

場所：奈良県トラック会館

部会員総数：35名 出席者25名（委任状 15名含む）



山口滋部会長



山口部会長は、冒頭「私たちは、一般道を利用して大型ダンプトラックで土砂などを運搬している。輸送の安全を最重点に努力していきたい。また、協会として『横断歩道は歩行者優先』という宣言が行われた。部会員も『横断歩行者保護宣言事業所』に加盟し、交通安全意識の向上に努めていただきたい。」と挨拶した。

無事故・無違反チャレンジ運動120達成グループ表彰



▲写真左から 今村浩三交通管理調査官、塚本会長

奈良県警察本部今村浩三交通管理調査官は、「無事故・無違反チャレンジ運動120達成事業者の皆様、誠におめでとうございます。これからも無事故・無違反を継続していただきたい。」と挨拶。

第15回 無事故・無違反チャレンジ運動120 達成事業者

上野商店	有限会社平和運輸
株式会社キタウラ	有限会社合輪
有限会社財本建材	西久運輸株式会社
昭栄運輸株式会社	有限会社丸本建材
高田重機建設株式会社	田口開発株式会社
有限会社龍田	有限会社小松運輸
藤秀建設株式会社	有限会社辰巳運輸
株式会社堀川土木建設工業	有限会社キクヨシ
株式会社中和営繕	株式会社大紀

総会

第1号議案

2018年度事業報告及び収支決算報告について

監査報告

第2号議案

2019年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第3号議案

役員改選について

2019年度役員及び相談役

役職名	氏 名		
部会長	山口 滋	委 員	堀川誠司
副部会長	北浦久志	〃	小松隆浩
〃	西川久雄	〃	菊川富士大
監 事	辰巳謙二	〃	村上義彦
会 計	山口 滋	相談役	清水益成



軽油価格調査集計表(2019年5月)

令和元年6月25日現在
(公社)全日本トラック協会

2019年5月

単純集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
	105.66	100.23	108.52

2019年5月

元売別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

元売名	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
J X T G エネルギー	98.33	101.75	110.94
出光	110.83	101.74	104.98
昭和シェル	125.00	101.19	106.00
エクソンモービル			
キグナス		100.90	
コスモ	106.93	96.11	110.13
その他	104.33	100.99	107.88

2019年5月

月間購入量別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

月間購入量	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30キロリットル未満	105.47	99.99	109.20
30～50キロリットル未満	104.90	100.53	102.11
50～100キロリットル未満	109.50	101.00	106.63
100キロリットル以上		100.90	

2019年5月

支払期限別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

支払期限	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30日未満	111.00	101.28	109.30
30～60日未満	103.68	99.02	108.20
60日以上	110.00	104.83	109.07

軽油価格推移表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
2019年1月	104.68	92.25	99.55
2019年2月	103.30	94.27	101.38
2019年3月	104.20	96.66	104.12
2019年4月	106.81	99.63	106.88
2019年5月	105.66	100.23	108.52

※消費税抜きの価格となります。

近畿交通共済からのお知らせ

暑い夏、万全の健康管理で事故防止を

事故防止キャンペーン実施中 8月1日(木)～12月31日(火)

疲労運転を防止しましょう

当組合の事故発生状況については、対人事故は4年連続で減少傾向にありますが、昨年度以降、対物、車両事故が増加傾向にあります。

夏場は例年、事故が多発します。暑さや睡眠不足による疲労がたまりやすく、注意力散漫による前方不注意や、居眠り運転といった、不安全行動が現れやすく、交通事故が発生しやすくなります。

ドライバーの方々にはいつにも増して、スピードを控え、時間に余裕をもった運転を心掛けてほしいものです。事業主の方からも、疲れたら「休憩を早めにとるように」と一言声をかけていただきますようお願いします。

また、夏休み期間中は、普段見かけないような時間帯や場所で子どもを見かける機会が増えます。とくに、生活道路での子どもの飛出し等を予測し、速度を控えた運転に注意しましょう。高速道路では、帰省ドライブの車への注意も怠らないようにしてください。

疲労・居眠り運転の防止には、睡眠が必要不可欠です。日中に適度な運動を心がけたり、ぬるめの温度でゆったりと入浴などもおすすめです。車内熱中症にも注意してください。1、2時間ごとに休憩し、100～200 mlの水分を補給しましょう。また、バランスの取れた食生活で、暑さを乗り切ってください。

当組合では現在、令和元年度無事故コンクールを実施し、組合員・運転者が無事故に挑戦する運動を展開しています。

コンクール期間の5ヶ月間、無事故であった契約組合員（当組合に事故受付がなされていない組合員）および各地域を対象に表彰いたします。

無事故達成組合員には、記念品を進呈いたします。また、コンクール期間内に対人・対物共済の事故率が共に共済平均事故率を下回る上位8地域を表彰いたします。



※応募資格 継続しております事故発生率をFAXにて令和元年8月31日までに当組合へご連絡願います。
※対象地域 令和元年8月1日から12月31日までの期間、無事故（対物共済に事故受付がない）であること。
※対象者 令和元年8月31日現在の当組合に加入しているドライバーです。
※表彰方法 「無事故コンクール」において、期間内の対人・対物共済の事故率が共済平均以下で、その数値上位8地域を表彰します。

近畿交通共済組合

〒710-0001 広島県広島市東区中島1-1-1 TEL:082-4901-1111 FAX:082-4901-1112

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています

近畿共済の自動車共済・自賠償共済をご利用ください

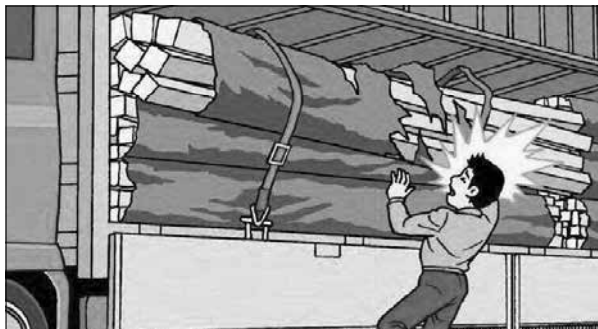
ご契約のお問い合わせ・お申し込みは、奈良事務所 0743—59—1701まで

2 トラック・荷台等での荷崩れによる死亡災害

「トラック・荷台等での荷崩れ」による死亡災害事例を分析すると、「積みおろし時における被災」がこれら事例の半数以上を占めており、荷物の固定・固縛^{こばく}が不適切だった例が多く見られました。通常、積みおろし担当者は積付け時の状況が分からないため、積みおろし時の危険を的確に把握できず、その結果災害に至ってしまうケースがあります。

事例
1

固定ベルトを外した途端に 多くの角材が落下（死亡災害）



被災者は、トラック（ウイング車）の積荷である角材180本の束の積み付け状況を点検していました。角材はラッシングベルトで固定されていたものの、点検のためベルトを緩めたところ、角材の束が崩壊し、被災者は角材の下敷きになりました。なお、同被災者は保護帽を着用していませんでした。

事例
2

ドラム缶とともに転落。 ドラム缶が被災者に直撃（死亡災害）

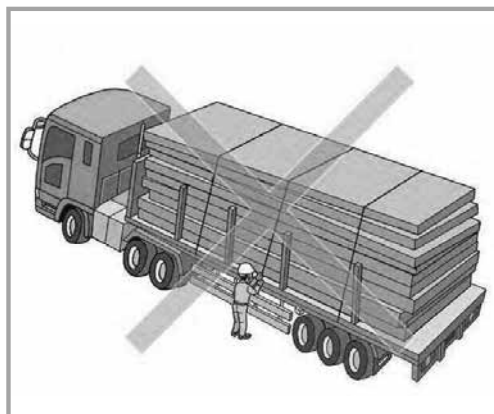
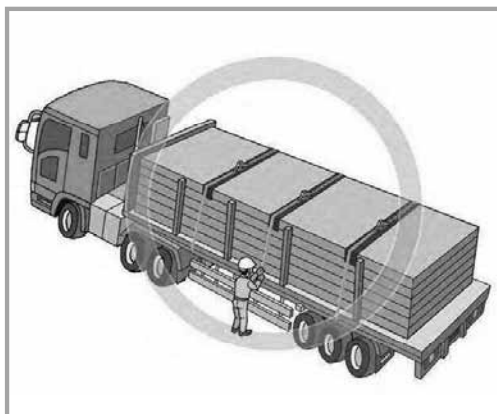


被災者は、積載されているドラム缶を、トレーラーコンテナの奥からフォークリフトのあるトラック荷台側面に移動させる作業をしていましたが、コンテナから地面へドラム缶とともに転落し、ドラム缶が被災者に直撃しました。なお、コンテナ内部の底面には雪が残っており、非常に滑りやすい状態でした。

▶ 労働災害を防ぐためのポイント!

対策

積付け時には、積荷の状態を確認すること（積みおろし配慮）



ひとこと アドバイス

荷崩れが起きやすいような形で積付けが行われると、積みおろしの際に非常に危険です。積みおろし担当者が安全な積みおろしができることを前提に、積付け時の積みおろし配慮を行いましょう。
また、荷崩れを防ぐために、適切な固定・固縛を行うなど、適正な方法で荷を固定させることが非常に重要です。

その他、事業者・作業者は次のような対策を講じましょう

- ▶ 作業手順書を作成しましょう
- ▶ 積荷の状態に応じて作業指揮者を定めましょう
- ▶ 荷の固定・固縛方法に係る研修を実施しましょう
- ▶ 積付け・積みおろし時に渡し板等が必要な場合には、板の脱落防止や荷の滑り止め措置を実施しましょう
- ▶ トラックの走行途中で積荷の固定・固縛方法を点検しましょう
- ▶ 荷崩れに繋がりやすい荒い運転（急制動、急発進、急旋回など）をしないようにしましょう
- ▶ 荷台のあおりやウイング等を動かす際には、事前に荷が立てかけられていないかを確認しましょう



参考資料

「安全輸送のための積付け・固縛方法」では、荷崩れを防ぐための積付け・固縛時の注意点などについて紹介していますので、参考にしてください。

資料提供：公益社団法人全日本トラック協会



トラック協会・陸災防奈良県支部

8月の行事(予定)表

日	曜	時 間	行 事	場 所
3	土	10:00～	奈良県フォークリフト運転競技大会	奈良県トラック会館
6	火	13:30～	トラックドライバー競技会 選考会・説明会	奈良県トラック会館
7	水	13:30～	法令遵守セミナー（県警、奈良労働局、奈良運輸支局、近畿運輸局）	奈良県トラック会館
19	月	13:30～	TV会議システムを利用した「特殊車両通行許可制度講習会」オンライン申請（初・中級者向け）	奈良県トラック会館
23	金	9:00～	運行管理者試験対策講習会	奈良県トラック会館
25	日	13:00～	令和元年度第1回運行管理者試験	奈良春日野国際フォーラム ～I・RA・KA～
31	土	9:00～	奈良県防災総合訓練	桜井市芝運動公園
31	土	13:30～	トラック重大事故防止対策セミナー	奈良県トラック会館

9月の行事(予定)表

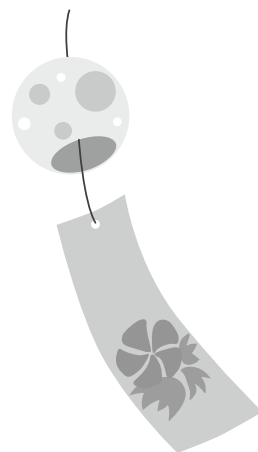
日	曜	時 間	行 事	場 所
4	水	13:30～	交差点事故防止マニュアル活用セミナー	奈良県トラック会館
17	火	13:30～	指導・監督者育成講習会	奈良県トラック会館



お盆の休日のご連絡について

暑中お見舞い申し上げます。
 平素は協会業務にご理解とご協力を頂き、
 ありがとうございます。
 事務局もお盆休みを頂きますので、
 お知らせいたします。
 盆休日は下記のとおりです。
 あらかじめご了承賜りますよう
 ご連絡申し上げます。

盆休日 ～事務局～
 令和元年8月13日(火)～15日(木)まで



《緊急連絡先》

緊急連絡先をご案内申し上げます。

8月10日(土)	080-8941-9227	【協会携帯No.7】	奥田
8月11日(日)	080-8941-9228	【協会携帯No.8】	井口
8月12日(月)	090-1441-3878	【協会携帯No.6】	上村
8月13日(火)	090-7342-7715	【協会携帯No.1】	山村
8月14日(水)	090-7340-7061	【協会携帯No.5】	森
8月15日(木)	090-8758-6975	【協会携帯No.4】	岸本



奈良・針トラックステーション
 お盆の休日
 令和元年8月13日(火)～15日(木)まで

適正化事業・巡回指導報告書

奈良県貨物自動車運送適正化事業実施機関

2019年度実施状況		
実施目標件数	実施件数	実施率
220件	80件	36.4%

2019年6月実施状況			
計画件数	実施件数	実施率	巡回延出動台(日)数
40件	32件	80.0%	17台

調査事項			調査件数	指導件数	指導率
I. 事業計画等	1. 主たる事務所及び営業所の名称、位置に変更はないか。		32	1	3.1%
	2. 営業所に配置する事業用自動車の種別及び数に変更はないか。		32	1	3.1%
	3. 自動車庫の位置及び収容能力に変更はないか。		32	0	0.0%
	4. 乗務員の休憩・睡眠施設の位置、収容能力は適正か。		32	1	3.1%
	5. 乗務員の休憩・睡眠施設の保守、管理は適正か。		32	1	3.1%
	6. 届出事項に変更はないか。(役員・社員、特定貨物に係る荷主の名称変更等)		25	0	0.0%
	7. 自家用貨物自動車の違法な営業類似行為(白トラの利用等)はないか。		32	0	0.0%
	8. 名義貸し、事業の貸渡し等はないか。		32	0	0.0%
II. 帳簿類の整備、報告等	1. 事故記録が適正に記録され、保存されているか。		9	0	0.0%
	2. 自動車事故報告書を提出しているか。		1	0	0.0%
	3. 運転者台帳及び従業員台帳が適正に記入等され、保存されているか。		32	0	0.0%
	4. 車両台帳が整備され、適正に記入等されているか。		32	2	6.3%
	5. 事業報告書及び事業実績報告書を提出しているか。(本社巡回に限る)		21	9	42.9%④
III. 運行管理等	1. 運行管理規程が定められているか。		32	2	6.3%
	○ 2. 運行管理者が選任され、届出されているか。		32	0	0.0%
	3. 運行管理者に所定の研修を受けさせているか。		30	8	26.7%
	4. 事業計画に従い、必要な員数の運転者を確保しているか。		32	3	9.4%
	○ 5. 過労防止を配慮し、適正に管理されているか。		32	11	34.4%
	6. 過積載による運送を行っていないか。☆		31	0	0.0%
	○ 7. 点呼の実施及びその記録、保存は適正か。		32	4	12.5%
	8. 乗務等の記録(運転日報)の作成・保存は適正か。		32	1	3.1%
	9. 運行記録計による記録及びその保存・活用は適正か。☆		23	4	17.4%
	10. 運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。		3	3	100.0%①
	○ 11. 乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。		32	12	37.5%
	○ 12. 特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。		19	13	68.4%②
	○ 13. 特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。		19	8	42.1%⑤
IV. 車両管理等	1. 整備管理規程の制定及び整備管理業務がなされているか。		32	2	6.3%
	○ 2. 整備管理者が選任され、届出されているか。		32	0	0.0%
	3. 整備管理者に所定の研修を受けさせているか。		31	8	25.8%
	4. 日常点検基準を作成し、これに基づき点検を適正に行っているか。		32	0	0.0%
	○ 5. 定期点検及びその保存がされているか。		32	10	31.3%
V. 労基法等	1. 就業規則が制定され、届出されているか。		15	0	0.0%
	2. 36協定が締結され、届出されているか。		28	3	10.7%
	3. 労働時間、休日労働について違法性はないか。(運転時間を除く)		31	0	0.0%
	○ 4. 所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。		31	19	61.3%③
VI. 法定福利	1. 労災保険・雇用保険に加入しているか。		29	3	10.3%
	2. 健康保険・厚生年金保険に加入しているか。		29	6	20.7%
VII. 運輸安全マネジメント	1. 運輸安全マネジメントの実施は適正か。		32	6	18.8%
指導件数合計			1047	141	13.5%

(注) ○…重点指導項目 ☆…霊柩は項目から除外

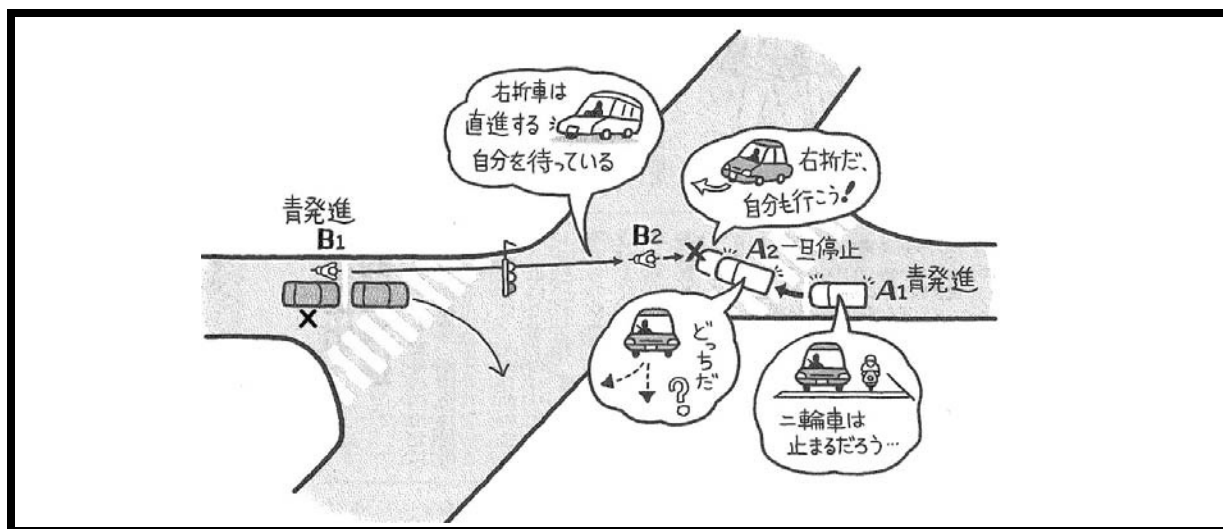
	A	B	C	D	E	その他	合計
通常	2 件	9 (2)件	1 2 (2)件	3 件	3 (2)件	件	2 9 (6)件
新規参入	件	1 件	件	1 件	件	件	2 件
新規(他)	件	1 (1)件	件	件	件	件	1 (1)件
特別(労)	件	件	件	件	件	件	件
特別(他)	件	件	件	件	件	件	件
総合	2 件	1 1 (3)件	1 2 (2)件	4 件	3 (2)件	件	3 2 (7)件

※ () は会員外の件数です

事業用自動車事故事例 No.47

普通貨物車と二輪車の変形十字路交差点での出会い頭事故

■ 事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：夜 曇り

当事者A：普通貨物車 30歳代 男性

当事者B：二輪車 10歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、往復1車線の道路を走行中、変形十字路交差点を右折しようとし、信号が赤になったので停車しました。対向側の先頭にも信号待ちのX車がいるのが見えました。B車は左折か直進するだろうが、先に交差点内に進入してしまえばB車が止まるだろうと考えました。

Aは信号が青に変わったのを確認してから、交差点に進入しました。X車も動き出しましたが、方向指示器を出していなかったため、Aは交差点内で停止してX車の動静に注意しました。X車が右折を開始したので、Aは自分も右折を開始したところ、突然、直前にB車が現れたため、急ブレーキをかけましたが間に合わず衝突しました。

一方、B車は信号が青になって交差点内に進入した際、A車が停止したのを見て自分の進行を待っていているものと解釈しました。そのまま時速約20kmで進行したところ、突然A車が右折を開始したためブレーキをかけましたが、間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故の直接の原因ではありませんが、直進してくる二輪車を正面からみて正確な速度を読み取るのは大変難しいことが分かっています。それは二輪車が小さく見えるとか、目立ちにくいとか、様々な理由があるようです。

自分が交差点で右折待ちをしていて、対向側から二輪車が直進してくるときは、直進二輪車の通過や停止を確認してから右折を開始したほうがより安全です。

K I T 事業の案内

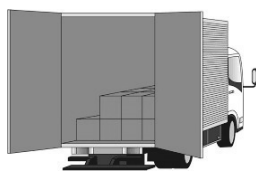
Kyodo Information of Transport

K I T(協同・情報・輸送) 事業のご案内

キット K ・ I ・ T

奈良県キット事業協同組合は平成12年6月から事業を開始しております。

キット事業とは、インターネット上にて、荷物及び車両を検索し、条件が合えば成約する事業で、空車を無くし、実車率を高める情報サイトです。

〇〇キット組合
会員A社全国WebKIT加入協同組合・組合員の
間で荷物・車両の手配が出来ます。△△キット組合
会員B社荷物が無いなあ〜…。
車両が空いてる…。車両が足りない！！
誰か運んでくれないかなあ？

*運賃の集金は組合精算ですので安心です。

*運賃の支払いは45日サイトです。

☆輸送

運賃＜実例＞

◎大阪(茨木市) → 埼玉(深谷市) 大型車

運賃 85,000円(税抜き)

◎大阪(住之江区) → 愛知(安城市) 4トン車

運賃 43,000円(税抜き)

☆軽油販売

エネクスフリースト 軽油価格

令和元年	5月	6月
軽油	107円	101円

(単価は日本貨物運送事業協同組合連合会
(日貨協連)の全国統一価格です。)

☆尿素販売

アドブルー 1L=52円(2019年1月現在)

*軽油・尿素の支払いは50日サイトです。

お問い合わせ

奈良県キット事業協同組合

〒639-1103

奈良県大和郡山市美濃庄町170-15

TEL 0743-58-6080 FAX 0743-58-6081

事故対からのお知らせ

運輸安全マネジメント「国土交通省認定セミナー」のご案内

NASVA（独立行政法人自動車事故対策機構）では、国土交通省から、運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効なセミナーとして「ガイドラインセミナー」「リスク管理（基礎）セミナー」「内部監査（基礎）セミナー」について平成26年より認定を受け実施しております。

令和元年度においては以下の日程で開催することとなりましたので、ぜひご参加いただき、自社の運輸安全マネジメントの取り組みの一層の向上にお役立て下さい。

受講によるメリット

《 監査インセンティブ 》

貸切バス事業者を除く自動車運送事業者の経営管理部門の要員が認定セミナーを受講し、かつ、受講内容を活用していることが国土交通省において確認された場合には、地方運輸局の長期未実施を理由とする一般監査の対象としないことができるとされています。

※注 制度に関する詳細は、国土交通省にお問い合わせ下さい。

《 Gマーク加点対象 》※貨物自動車運送の方

運送事業者の選任運転者が認定セミナーを受講された場合には、貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク）申請における、「安全性に対する取組の積極性」判断基準「5.外部の研修機関・研修会へ運転者等を派遣している。（2点）」に該当します。

※注 制度に関する詳細は、奈良県トラック協会にお問い合わせ下さい。

令和元年9月19日（木）13：00 開講 『リスク管理（基礎）セミナー』

ガイドラインの項目「事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用」について、リスク管理の必要性や事故等の情報収集・活用方法について事例を交えながら解説します。

日 時：令和元年 9月19日（木） 13：00～16：30

受講料：5,100円（消費税、テキスト代を含む）

定 員：15名【お申込みが5名以下の場合は開催を延期する場合もございますのでご了承ください。】

場 所：エルトピア奈良（奈良労働会館）3F 小会議室2

受付開始：令和元年8月1日 ～ （定員に達し次第受付を終了いたします）

お申込は
インターネットで

◎お申し込み方法

NASVAのホームページ『 <http://www.nasva.go.jp> 』（「ナスバ」で検索）を開き「セミナーのご予約」をクリックしてお申込みください。

（インターネットで予約できない場合は下記電話番号にご相談ください。）

◎お問い合わせ先 NASVA（独立行政法人自動車事故対策機構 奈良支所）

TEL 0742-32-5671

奈良県警察本部からのお知らせ

1 令和元年の県内交通事故発生状況

7月15日現在

区分	令和元年	平成30年	増減数	備考
総件数	21,297 件	22,859 件	-1,562 件	1日に約 109 件
人身事故件数	1,819 件	2,156 件	-337 件	1日に約 9 件
死者数	18 人	17 人	1 人	約 11日に 1人
負傷者数	2,249 人	2,667 人	-418 人	1日に約 12 人
物損事故件数	19,478 件	20,703 件	-1,225 件	1日に約 99 件

(データは概数)

2 交通死亡事故の特徴

7月15日現在、県内の交通事故死者数は、**18人**です。

交通事故類型では、
人対車両 4件
車両相互 7件
車両単独 7件

年齢層別では、
高齢者 9人
壮年 8人
青年 1人
少年 0人
子供 0人



高齢者が亡くなれる事故が多い傾向となっています。

状態別では、
歩行者 4人
自転車 2人
四輪車 6人
二輪車 3人
原付車 3人

※ 子供＝15歳以下・少年＝16～19歳・青年＝20～24歳・壮年＝25～64歳・高齢＝65歳以上

3 秋の交通安全県民運動

令和元年9月21日(土)から9月30日(月)までの10日間

全国重点

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保
- ② 高齢運転者の交通事故防止
- ③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- ④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤ 飲酒運転の根絶

奈良県重点

二輪車、原付車の交通事故防止



交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

横断歩行者保護宣言事業所の証

公益社団法人 奈良県トラック協会

貴事業所を「横断歩道における歩行者優先」
の交通ルールを実践する横断歩行者保護宣言事
業所であることを証します。



令和元年7月1日

奈良県警察本部



トラック奈良 2019年8月 第304号

発行 公益社団法人 奈良県トラック協会

奈良県大和郡山市額田部北町 981 番地の 6 編集発行人 塚本哲夫

TEL.0743-23-1200 (代) FAX.0743-23-1212

**荷役5大災害の防止対策
を徹底しましょう！**

- ①荷台等からの墜落・転落
- ②荷台等での荷崩れ
- ③フォークリフト使用時
- ④トラックの無人暴走
- ⑤トラック後退時